

日本救急医学会関東地方会による院外心肺停止患者の機能予後 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2019 年 10 月 11 日～ 2020 年 8 月 31 日

〔研究課題〕 日本救急医学会関東地方会における院外心肺停止患者に対する連結不可能匿名化を用いた多施設前向き観察研究（2017 年）

〔研究目的〕 医療機関外 の場所における心肺停止(院外心肺停止)は、全国で毎年 10 万件以上発生していますが、その生存率や脳機能の回復率は非常に低い(数パーセント程度)ことが知られています。本研究の目的は、日本救急医学会関東地方会による院外心肺停止患者の登録データを用いて、病院到着後に行われる治療や検査所見と脳機能の回復程度との関連を明らかにすることです。

〔研究意義〕 脳機能回復に効果のある治療を明らかにすること、脳機能回復の可能性を予測することが可能となり、治療成績の向上と診断精度の向上が期待されます。

〔対象・研究方法〕 本研究の対象となるのは、SOS-KANTO データベースへの登録事業に参加した、関東地方の 46 医療機関に、2019 年 9 月から 12 月までの間に院外心肺停止で搬送された患者さまです。病院到着前、病院における治療、検査内容、脳機能などのデータが、個人を特定できる情報を除外した形でデータベースに登録されています。本研究はそのデータを用いて分析を行います。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設、研究事務局:日本救急医学会関東地方会 事務局 研究代表者:北村伸哉(君津中央病院 救命救急センター長)

〔個人情報の取り扱い〕 データは匿名化(個人が特定できる情報を除外)した形で登録されていますので、個人が特定されることはありません。帝京大学におけるデータの管理は研究代表者が責任を持って行います。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。登録データは個人が特定できませんのでデータを削除することは不可能です。

対象となる患者様またはご家族の方で、検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:救急医学講座主任教授 坂本 哲也

研究分担者:西 竜一

所属: 帝京大学医学部救急医学講座

住所:板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 〕